

# 高 下関北高校だより

(令和5年6月20日発行)

山口県立下関北高等学校

〒759-5511 下関市豊北町滝部 1003 番地  
TEL (083) 782-0023 FAX (083) 782-0183

高校生活の様子は下関北高校HPでも紹介しています。  
<http://www.shimonosekikita-h.yasn21.jp>

## ■ P T A 総会後に保護者対象の情報モラル講演会を実施しました

5月14日(日)、約40人の保護者の方々の御出席のもと、令和5年度P T A総会が開催されました。渡邊P T A会長さんをはじめとする新役員も承認され、今年度は学校行事等において学校とP T Aの方々との連携・協働が一層図れることを期待しています。

また、P T A総会後に、昨年度に引き続き、東亜大学医療学部教授の保田裕彦先生を講師に招聘し、「ネット犯罪と対処法について—迷惑動画で大騒動、なぜ?—」と題して情報モラル講演会を実施しました。迷惑動画が投稿され始めた十数年前から今日までの様々な事案を示され、「まさか」「そんなつもりじゃなかった」といった軽はずみな行動が人生を変えてしまう大事になってしまうということを再認識することができました。また、当事者が未成年の場合、保護者の責任が問われるということも話され、学校と家庭とが協力し、様々な機会を捉えて生徒と情報モラルについて考えていく必要性を感じました。



## ■ 豊北キッズクラブ ACP にボランティアとして参加しました



5月20日(土)、豊北小学校にて豊北キッズクラブACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)が開催され、本校からJRC部と有志ボランティアの生徒が参加しました。ACPとは、現代の子どもたちの運動離れを改善すべく、遊びながらいろいろな動きを身に付けたり、多様な人と関わりを持ったりするといったプロジェクトです。

元気いっぱい子どもたちとの関わりに初めは緊張していた生徒たちですが、様々な遊びの中で、徐々に打ち解けていく様子が見られました。子どもたちにとってお兄さん・お姉さんの存在の生徒たちがとても頼もしかったです。このACPは年間を通して行われます。今後もボランティア活動を通じて、積極的に地域との交流を深めていきたいと思えます。



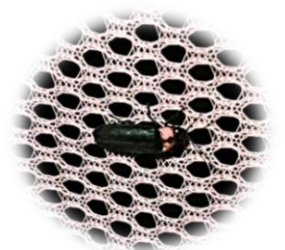
## ■ 「北高夢ロード実行委員会」の企画展に参加しました

「北高夢ロード実行委員会」(波多野会長)による第18回展「<アート本棚>二十の扉」が、5月23日(火)~6月18日(日)の約1ヶ月間、ギャラリー夢ロードで開催されており、今年度も美術関係書を中心に6,000冊が展示紹介されています。期間中の毎週金曜日は「音楽とお話のタベ」という企画が開催され、1回目となる5月26日(金)に本校吹奏楽部の有志3名が出演しました。

楽器はクラリネット、アルトサックス、トロンボーンの3種類だけでしたが、「上を向いて歩こう」や「赤いスイートピー」などの懐かしい曲を含む4曲を演奏し、地域の方々や本校の生徒等、およそ30人の耳を癒してくれました。演奏後は地域の方からの質問や感想をいただき、出演した3名にとっても有意義なひとときとなりました。



また、同日午後7時45分から、同じく「北高夢ロード実行委員会」による粟野川流域ホタル観察会が開催され、地域住民と教職員が参加しました。午後8時になると、本校校門前の神出川にホタルの明かりが見え始め、実行委員会粟野川プロジェクト班の藤岡さんから、ホタルの生態等の説明を聞きながら神出川上流まで散策し、ホタルの見事な乱舞を楽しむことができました。





## ■ 県総体が開催されました



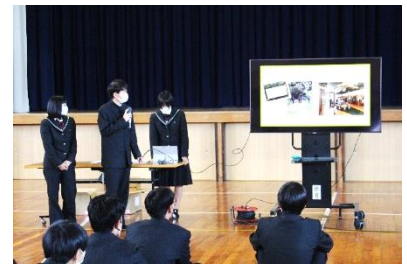
5月27日(土)～29日(月)、山口県高等学校総合体育大会が行われました。本校から出場した各競技の選手も熱戦を繰り広げ、陸上競技部は、走幅跳の河口真紀さんと女子4×100mリレー(藤野美月さん、河口真紀さん、河口紗紀さん、仲井楓夏さん)が中国大会に、相撲部は松岡建晋くんが全国大会出場の切符を手にしました。



3年生にとっては集大成の大会でしたが、これまでの経験を今後様々な活動や進路実現に活かしてくれることを期待しています。

## ■ 「地域探究」各コースの活動が始まりました

2・3年生で選択履修する本校独自の学校設定教科「地域探究」の活動が徐々に本格化してきました。4月13日から4回に分けてオリエンテーションが行われ、現3年生による昨年度の各コースの活動紹介に始まり、SDGsや課題発見・課題解決の視点、学習の進め方について担当教員から説明がありました。



5月半ばからは、「環境・自然」、「観光・産業」、「歴史・文芸」、「安全・防災」、「保育・福祉」の5つのコースに分かれ、昨年度に引き続き、北高夢ロード実行委員会の方々や地域関係機関の方々からの指導助言をいただきながら、具体的な活動計画を立て進めているところです。

6月1日(木)、「環境・自然コース」では、遇斯光庵で見頃となっているハナショウブの観察を行いました。また、「歴史・文芸コース」は、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの松下館長さんによる御指導の下、「エンサイクロペディア豊北・プロジェクト」として豊北町の全てがわかるガイドブックの発行に向けてフィールドワークの準備を始めています。このように様々な形で地域から御支援・御協力をいただいていることに感謝しつつ、地域貢献につながる課題解決をめざして活動が進んでいくことを期待しています。



## ■ 文化祭を4年ぶりに一般公開しました

6月4日(日)、「彩れ～青春の1ページ～」をテーマに、下関北高校の文化祭を開催しました。今年度は4年ぶりに一般公開とし、保護者をはじめ、学校運営協議会委員や卒業生、地域の方々等、約200人の来場者をお迎えし、食品バザーも当日券が足らなくなるほどの盛況ぶりでした。



ステージ企画では、吹奏楽部の演奏や手話ソングの披露をはじめ、豊北きらきらこども園の園児とのダンスなど、日頃の活動の成果が発表されるとともに、生徒会が企画した部活動対抗カラオケやクラス対抗クイズ大会、相撲部によるアームレスリング、生徒有志によるダンスやバンド演奏等に会場は大変盛り上がりしました。



展示部門では、フォトスポット、迷路といった学年企画、総合文化部生徒の作品展示、JRC部によるスタンプラリー等、多くの方々に御参加いただきました。



文化祭実行委員長の森本美咲さん(3年)がオープニングで言った「来場者の方に気持ちよく過ごしていただければ、一人ひとりが心がけていきたいと思います。」の言葉どおり、感謝とおもてなしの気持ちを込めた最高の文化祭になったのではないかと思います。